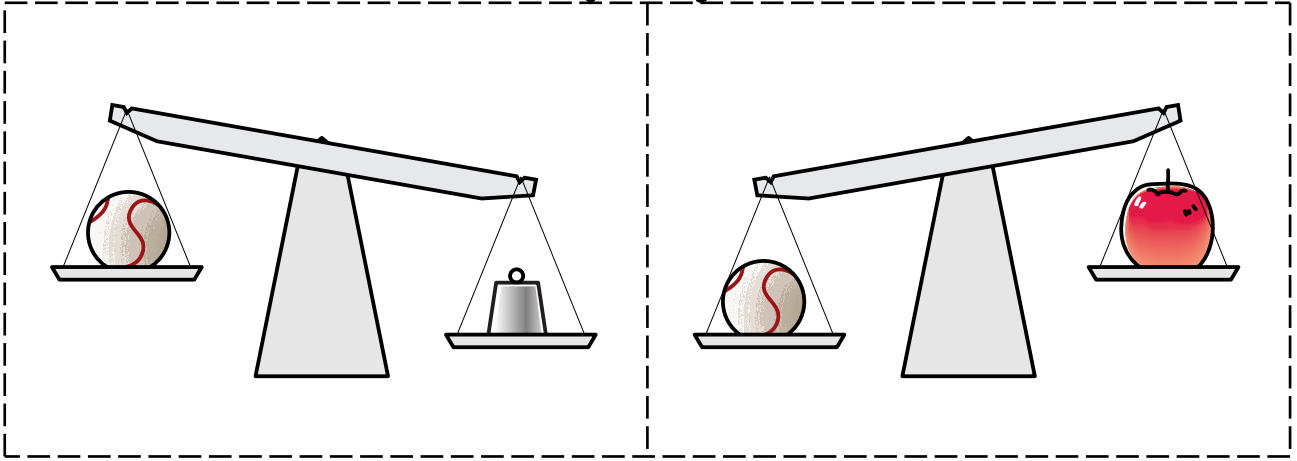


1) はかりの実験を思い起こさせる。
 2) 手をはなしたら、どちらが重いか(どちらが下がるか)を問う。ここでは、大きさと重さの順が逆になっている。
 3) はかりの実験がない子には実験を先行する。

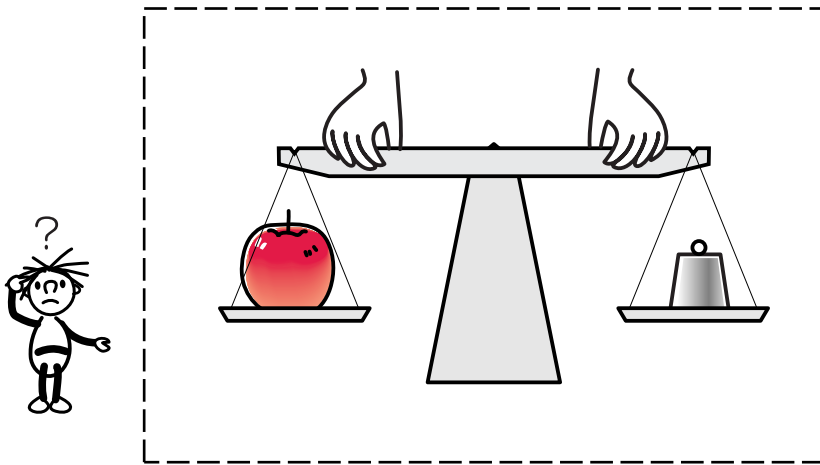
a) $A > B$ ならば $A > B$ の推移律課題。
 b) 重い方が下に下がること(の理解には、ソニー実験に追加)はかりの実験が必要。
 c) 重さの差を量的な関係として認知させたい。大きさと重さの判断の分化である。

特定用具: 不要
 Date:

はかりにのせたら こうなりました。



どちらがおもいでしょう。



おもいじゅんにばんごうをつけなさい。



()



()



()